



デンマーク・カバード債券・インカムファンド2019-03(為替ヘッジあり)
追加型投信/海外/債券

当初設定日: 2019年3月26日
作成基準日: 2023年12月29日

◆ 基準価額・純資産総額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◆ 基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	7,600 円	+ 340 円
純資産総額	36.79 億円	- 1.41 億円

◆ 期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	4.68%
3ヵ月	7.47%
6ヵ月	5.51%
1年	3.03%
3年	-23.75%
設定来	-22.57%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

◆ 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 160 円

決算期	2022年9月	2023年3月	2023年9月
分配金	20 円	20 円	20 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

◆ 組入投資信託証券の状況

投資信託証券	比率
デンマーク・カバード債券・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)	98.64%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.00%
その他	1.35%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。



デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)マザーファンド3の資産の状況

※ 「デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)マザーファンド3」は、「デンマーク・カバード債券・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)」の主要投資対象です。

◆ 特性値

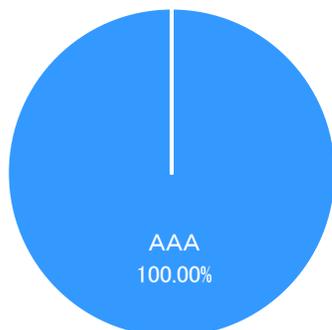
平均格付	AAA
期限前償還考慮後デュレーション	7.49 年
予想利回り(A)	3.72 %
為替ヘッジプレミアム/コスト(B)	-3.80 %
為替ヘッジプレミアム/コスト考慮後 予想利回り(A+B)	-0.08 %
平均クーポン	2.71 %
銘柄数	27 銘柄

※ 格付はムーディーズ社、S&P社、Fitch社の順に優先して適用しています。平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。
 ※ 予想利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。予想利回りは、組入債券部分についての数値です。
 ※ 為替ヘッジプレミアム/コストは、対デンマーク・クローネの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出しています。プラス表記は為替ヘッジによるプレミアム(収益)の発生を、マイナス表記はコスト(費用)の発生を示します。

◆ 資産内容

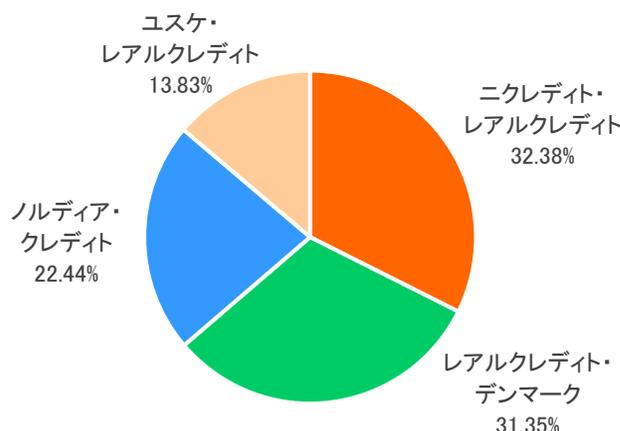
債券	99.77%	※ 対純資産総額比です。
短期金融資産等	0.23%	
合計	100.00%	

◆ 格付別構成比率



※ 対組入債券評価額比です。

◆ 発行体別構成比率



※ 対組入債券評価額比です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	償還日	クーポン	予想利回り	格付	比率
1	リアルクレジット・デンマーク	2053/10/1	5.00%	4.75%	AAA	17.88%
2	ニククレジット・リアルクレジット	2053/10/1	5.00%	4.83%	AAA	10.37%
3	ユスケ・リアルクレジット	2053/10/1	1.00%	3.03%	AAA	10.17%
4	ノルディア・クレジット	2050/10/1	1.50%	3.20%	AAA	9.22%
5	ニククレジット・リアルクレジット	2053/10/1	3.00%	3.64%	AAA	7.91%
6	ノルディア・クレジット	2053/10/1	1.00%	3.03%	AAA	7.88%
7	リアルクレジット・デンマーク	2050/10/1	1.50%	3.19%	AAA	5.63%
8	ニククレジット・リアルクレジット	2050/10/1	1.50%	3.19%	AAA	3.96%
9	リアルクレジット・デンマーク	2047/10/1	2.00%	3.27%	AAA	3.68%
10	ニククレジット・リアルクレジット	2053/10/1	4.00%	4.15%	AAA	3.23%

※ 対純資産総額比です。

◇ 「デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)マザーファンド3の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)マザーファンド3の資産の状況

◆ ファンドマネージャーのコメント

【市場動向】

当月のヨーロッパの長期金利は、前月末から大幅に低下しました。同様にデンマークの長期金利も大幅に低下しました。
12月の欧州中央銀行(ECB)理事会では2会合連続での政策金利据え置きが決定されました。インフレ率は低下基調にあるものの、労働コストの上昇などから域内のインフレ圧力は依然として強いとしています。また、「インフレ率はECBの中期目標である2%に回帰しつつあり、現在の政策金利は、十分に長く維持することでインフレ抑制に大きく寄与する水準に達している」との前回からの認識を維持しました。
当月発表されたデンマークの経済指標では、11月の総合消費者物価指数(CPI)の伸び率(前年比)は前月から0.5ポイント上昇の+0.6%となりました。また、小売売上高は前月比+1.0%、前年同月比+6.3%と前月から上昇しました。12月の産業信用指標は-9と、前月の-16から改善しました。また、2023年7-9月期の実質GDP成長率(確報値)は前年同期比-0.3%、前四半期比-0.7%となり、速報値ベースからマイナス修正となりました。

【運用状況】

「デンマーク・カバード債券・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)」の当月のパフォーマンスは4.25%のプラスと、前月に続いて大幅なプラスリターンとなりました。当社ポートフォリオではすべてのクーポン帯の債券が値上がりしました。

【今後の見通し】

12月にかけて、市場ではECBの利下げ開始時期について前倒し観測が強まりました。一方で、12月のECB理事会後の記者会見では、ラガルド総裁は「利下げについては議論しなかった」とし、市場の早期利下げ観測を牽制する構えを示しています。
2022年から2023年にかけてグローバル債券市場は非常に厳しい局面を経験しました。しかし、2023年末にかけて金利は低下に転じています。2024年には主要中央銀行が利下げに転じるであろうことから、デンマーク・カバード債券を含む債券市場は堅調なパフォーマンスを期待しています。景気減速見通しや金利上昇によって政府や民間企業の債務負担が重くなるなかで、特にデンマーク・カバード債券のような質の高い債券には相対的な投資妙味があると考えています。
当ファンドでは、発行体の信用力、金利、期限前償還、投資資金のフロー、指数構成銘柄の定期見直しの影響などを勘案しながら、ポートフォリオを適宜見直しつつ、安定したインカム収入の確保、および信託財産の中長期的な成長を目指します。

◇ 「デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)マザーファンド3の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

ご参考

デンマーク・カバード債券指数の推移



為替ヘッジプレミアム/コストの推移



※ 上記グラフは信頼できると判断したデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成しています。
 ※ デンマーク・カバード債券指数は、ニクレディット・トータル・インデックスです。当指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。
 ※ 為替ヘッジプレミアム/コストは、対デンマーク・クローネの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出しています。プラス表記は為替ヘッジによるプレミアム(収益)の発生を、マイナス表記はコスト(費用)の発生を示します。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



ファンドの特色

1. 主として、デンマークのカバード債券に投資します。

当ファンドは特化型運用をおこないます。特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドを言います。当ファンドが実質的な主要投資対象とするデンマークのカバード債券には、寄与度が10%を超えるまたは超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

2. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジをおこないます。
3. 購入の申込みは、2019年4月26日までの間に限定して受け付けます。
4. 年2回決算をおこない、収益の分配をめざします。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等およびそれに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券の価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【期限前償還リスク】

カバード債券は、様々な要因によるローンの借換え等にもとない、期限前償還されることがあり、これらの増減により価格が変動します。特に金利が低下した場合、期限前償還の可能性の高まりにより、カバード債券の種類によっては価格の上昇が抑えられること、または下落することがあります。

【為替変動リスク】

投資対象ファンドにおいて、外貨建資産については、原則として為替予約を活用し、為替変動リスクの低減をはかることを基本としますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジをおこなう通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込みが発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止・取消となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



デンマーク・カバード債券・インカムファンド2019-03(為替ヘッジあり)
追加型投信/海外/債券

当初設定日: 2019年3月26日
作成基準日: 2023年12月29日

お申込みメモ

- 購入の申込期間 … 購入の申込期間は終了しました。
- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 購入・換金
申込受付不可日 … 申込日当日または申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
 - ・ロンドン証券取引所の休業日
 - ・コペンハーゲン証券取引所の休業日
 - ・ロンドンの銀行休業日
 - ・デンマークの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模および商品性格などにもとづき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限をおこなう場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付
の中止および取消し … 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
- 信託期間 … 原則として、2019年3月26日(設定日)から2024年1月25日までとします。
- 繰上償還 … 主要投資対象ファンドが償還される場合には、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
 - ・受益権の口数が30億口を下回るようになった場合
 - ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
 - ・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎年3月、9月の各25日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 … 年2回、毎決算時に原則として収益分配をおこなう方針です。
※第1期決算時においては収益分配をおこないません。第2期以降の毎決算時に、原則として分配をおこないます。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

- 《投資者が直接的に負担する費用》
 - 購入時手数料
購入の申込期間は終了しました。
 - 信託財産留保額
ありません。
- 《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - ・当ファンド:純資産総額に対して年率0.517%(税抜0.47%)
 - ・投資対象とする投資信託証券:純資産総額に対して年率0.363%(税込)
※ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。
 - ・実質的な負担:純資産総額に対して**年率0.88%程度(税込)**
※この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。
 - その他の費用・手数料
有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
- ※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図をおこなう者)
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2831号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
ホームページ：<https://www.soam.co.jp/>
サポートデスク：045-225-1651 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理をおこなう者)

販売会社

商号等		登録番号	加入協会
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	日本証券業協会

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合があります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>

- ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクをとまいません。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- ◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。